いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.１９９
２０２４（令和６）年１月２４日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ

『　感謝のスタート　』

今金町教育長職務代理者　　小野　嘉代子

２０２４年がスタートした１月１日、能登半島地震が起こり、思いもよらぬ元旦となりました。犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申しあげます。

改めて暖をとれる場所や住むところがあり、食べるものがあり、健康でいられることが当たり前ではないことを痛感した年の始めでした。

さて、この様な思いで過ごしたお正月休み、図書室に行くと今年も本の福袋が並んでありました。司書の方に「福袋いかがですか？」と勧めてもらい借りることにしました。家に戻り、直ぐに袋を開けるとビックリ！読んで見たいと思いながらも、図書室に行っては違う本を手にしていて借りていなかった本でした。真っ先にその本を読み進める中、思わず声を出して笑ってしまいました。読んでみて良かった～と大満足。

色んな事があった年の初め。普通に生活できている中で、笑顔を忘れては身も心も元気になれないなと、勧めてくれた司書さんと今日も無事でいられることに感謝の思いのスタートとなりました。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

学校が始まりました

波乱の年明けとなった令和６年ですが、今金の子どもたちは冬休みも明け、明るく学校に戻ってきたようでホッとさせられる報告が、定例の校長会議・教頭会議からなされておりました。

初日から自由研究の発表会でスタートした学校では、高学年の自由研究に探求的要素が多く、ネットで調べたことのコピーペーストでなく、自分事としてまとめられていたと校長先生がうれしそうに話されておりました。日常の学習や学習発表会での成果が休み中の課題に繋がっているのですねと思いながらお聞きしておりました。

他にも「２３日間の冬季休業中、児童、家庭、職員に大きな事故等なし」と安心の報告。一方で災害の報道を受け、「今一度、避難所としての動きを職員含めて訓練、意識化しておきたい」と危機管理報告も。

受験が始まった中学校では早速の合格報告や、「進路（進学）指導業務は複数の手で、目で」と。一番うれしかった報告は、「休業明け、生徒の表情は良かった」。

他にもこども園や高校、高等養護学校から明るい話題提供が。頼もしい限りです。

さあ、年度の締めくくりになります。春からの明るい希望の新年度に向かって、お互い元気が出るようによろしくお願いしまーす。

